## 10月28日(木)~10月30日(土)

# 果樹園の降雪災害に隊員の支援

#### 【発見隊の支援活動】

10月26日から27日にかけて冬型の気圧配置が強まり、札幌など道内各地で初雪が観測されました。とりわけ札幌南部から後志地方北部にかけて降った重い湿雪のため、砥山の果樹園は果樹の倒壊や枝折れなど非常に大きな被害を受けました。収穫前のりんごも多数あり、この窮状を支援すべく3日間にわたり延べ20数人の発見隊員がボランティアで活動しました。

札幌管区気象台によると、札幌の初雪は平年より1日、昨年より6日早く、26日午後9時の気温は1.1°Cと11月中旬並みの冷え込みとなりました。夜半から早朝にかけて降雪が強まり隣接する中山峠では約60センチ、小金湯で33センチもの積雪により一面銀世界となりました。



砥山ふれあい果樹園では、2か所のブドウ棚(計25アール)が上に積もった雪の重さで倒壊、約400本のりんごの木は数本を除いて、大枝が裂けたり無数の枝折れの被害が発生し、収穫前のりんごが落果して雪の下になるなどの被害が発生しました。またプルーンや梨の木も大きな損傷を負い、来年の収穫が懸念される状況です。園主の父の瀬戸矩雄さん(84歳)は、自分が40年前に植え、手塩にかけて育てたりんごの木が倒壊した現場で、「こんな経験は初めてだねえ。」と悲しそうな表情で幹をなでながらつぶやくのが印象的でした。

隣接する西本果樹園でも貴重なデリシャスの木の太い幹が折

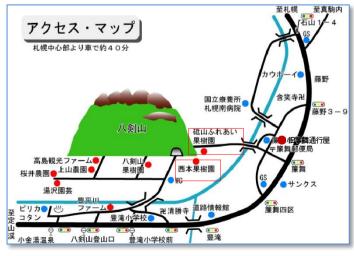
れる被害をはじめとして、約240本のりんごは数本以外に無数 の枝折れ被害が発生しました。今年大きな実をつけた約50本の

栗と7本のは、よりな、まいまでの、状ーをき受す。あれまり、ないでは、まりでは、まりでは、まりでは、まりでは、まりでは、まりでは、、もい被で関されました。



んは、「大きな良い実をつける木ほど被害が大きいようだ。」と語っていました。

台風接近のニュースもあったため、窮状を聞いた吉田隊長をはじめ発見隊員が次々と駆け付け、二つの果樹園でりんごの収穫を中心に作業を行いました。忙しい仕事の合間を縫って1時間だけでもと参加する隊員や3日間働いた隊員など、それぞれ自分の出来る範囲で作業に汗を流しました。慣れない手つきながら、りんごのもぎ取り方を教わって、作業スピードも上がり30日午後3時頃に収穫作業が終了し、被害農園からは深い感謝の意が表されました。地域活性化の支援という活動目的に沿って各隊員が活動した3日間でした。



は、支援を行った果樹園



















【被害状況を伝える日本農業新聞】

と後志北部

幌市南区





### 発見隊今後の行事予定

11月6、7日 飯寿司づくり講習会 12月18日 飯寿司試食会

#### 発行:八剣山発見隊(事務局長 瀬戸修一)

〒061-2275 札幌市南区砥山 84 番地

011-596-2694 **☎·**FAX

E-mail toyamafureai@gol.com **URL** http://hakkenzan.com/